

平成29年度教育事業 教員免許状更新講習



1. ねらい

学校における自然体験活動や集団宿泊活動は、子どもたちの豊かな人間性や社会性の形成及び基本的な体力や心身の健康の保持・増進、望ましい人間関係の形成など、教育効果の高い取組として実施されている。本講習では、児童・生徒に指導する上で必要となる知識・技能の習得とその効果について理解し、活動の全体的な流れを把握すると共に、各自の役割を認識し、各校で自然体験活動の普及・啓発に努める力を育成する。

2. 実施日

7月24日(月)～7月25日(火) 1泊2日

3. 対象者

主に幼稚園・小学校・中学校教諭・養護教諭

4. 参加者 / 募集定員

37名 / 40名

5. プログラム(要約)

本講習は「教員免許状更新講習」の選択講習(12時間)として奈良教育大学と連携して実施したものである。本講習では、自然体験活動の教育課程上の位置づけや各教科との関係、体験活動の効果や重要性について、実践事例を通して確認するとともに、学校でよく行われている野外活動(キャンプファイアー、野外炊事など)について、実習を通して最新の知識や技能、指導法を習得できるプログラムとして構成した。

スケジュール

7月24日(月) 1日目

開講式 オリエンテーション

【講義】「学校における自然体験活動の実際」

【演習】「野外活動の指導法」：自然発見・キャンプファイアー

7月25日(火) 2日目

【演習】「野外活動の指導法」：野外炊事

【講義・演習】「学校教育における自然体験活動の普及・啓発」

修了認定試験・閉講式・アンケート記入

【1日目】

開講式の後、講師に現宇陀市立室生中学校長 南勝久氏を迎え「学校における自然体験活動の実際」と題しての講義を受け、自然体験活動の在り方や意義、教育課程との関わりについて研修した。

午後は野外活動の指導法についての研修として、当施設で実施している森林調査隊のプログラムを体験した後、地球元気村自然学校の校長、奥田博氏を講師に迎え「森のレストラン ビストロそにと」を体験した。



参加者は目の前に置かれた皿の上に、工夫を凝らし料理を考えながら、野外活動の指導法についての理解を深めてた。

夜は、キャンプファイアーの意義や指導法等についての講義の後、全員で火を囲みながら、キャンプファイアーの指導法について演習を行った。



【2日目】

朝は、野外炊事の実習を行った。指導に当たってのポイントや留意点、リスクマネジメントについての講義の後、参加者は「エコ炊事」をテーマとして

①水の節約 ②生ゴミの減量 の2つの観点から工夫し調理を行った。

午後は、校種別のグループで、学校における自然体験活動の計画案を作成し発表した。自然体験活動の普及・啓発について、各校種に分かれて積極的に意見を出し合ったが、グループで出された意見を共有する時間は少なかった。

その後、修了認定試験、閉講式で2日間の講習を終了した。



6. まとめ

講習では、参加者一人ひとりに役割をもたせたことで積極的な取組をすすめることが出来た。また、学校等の引率時とは異なる視点で自然体験活動を行ったことにより、多くの気づきがあった。参加者からは「楽しんで参加することができた。ぜひ、同じ思いを子どもたちにも感じ取らせたい。」「自然体験を通じて、初めての先生方とも楽しく活動することができ、新しい仲間ができた。」「体験活動は子どもたちの成長にとって、とても有意義なことがわかった。」という感想が寄せられた。

(主任企画指導専門職 伊藤 博之)